

中山間地域
支援で提言

共助研

都市住民との「共助」
のネットワークによる農
山漁村地域の再生を目指
す建設コンサルタンツ協
会九州支部の下部組織
「九州郷(さむ)びんり共

助ネットワーク研究会」

(共助研、針員武紀会長)

は、地域支援における建

設コンサルタントの役割

や共助研のあり方に関す

る提言をまとめた。建設

コンサルタントのノウハ

ウや技術などを生かした

地域支援分野における新

たなビジネスの可能性を

示唆。そのためには、地
域支援活動の必要性の研
究や発信、評価の仕組み
づくりなどに取り組むこ
とだ。

提言では、建設コンサ

ルタントの経験や技術、

インフラ整備への理解

力、問題解決能力が国土

形成上の緊急の問題解決

に大きく役立つと指摘。

中山間地域支援について

は支援事業の重要性への

認識や評価手法の確立が

図られれば新たなコンサ

ルタントビジネスになる

可能性があるとした。

今後の共助研の活動と

しては、▽地域と行政、

専門家などを「結ぶ」▽

中山間地域支援の意識や

必要性を「伝える」▽こ

れらを通じて建設コンサ

ルタントの新たな役割を

「拓く」の3本柱をお

げ、地域資源の発掘や地

域づくり施策の提案、情

報交流、中山間地域支援

活動の必要性の研究・提

言、地域課題解決に向け

たビジネスの模索、OB

世代の社会活動フィール

ドの提供などに取り組む

とした。